

はやってます

暑い日は、シニワツと口に溜める炭酸ジュースが恋しい。今夏、注目を集めている飲み物といえは「地サイダー」だ。各地方の小さなメーカーが作る「ご当地もの」だが、ネット通販で人気が広がり、スーパーや酒店でも取り扱う所が増えてきている。

「レトロチックな瓶やラベルが、年配の人には懐かしさを感じるようです」と、東大阪市神田町の酒店「ひょうたん屋」(07-2・9387・1138)の店長、金森貞太郎さん(39)。同店では、全国4種類の地サイダーをネットと店頭で販売している「写真」。

金森さんは約4年前、佐賀県の「スワンサイダー」(友誼飲料、200円)の取り

作り手の温かみ
感じられる飲み物

寄せを開始。「産地の歴史や作り手の温かみを感じられる飲み物に、魅力を感じた」と話す。昨年ごろからの昭和レトロブームも追い風になったのか、今年5月からは前年比3倍の注文が続いているという。

「大阪サイダー」(大川食品工業、120円)を飲ませていただいた。メロンのような甘い香りで、お祭りで飲んだラムネを思い出す。兵庫県の「ありまサイダー」(有馬八助商店、250円)は炭酸が強く、岐阜県の「養老山麓サイダー」(田野龍泉所、180円)は、キッパリした味。それぞれ個性があるので、飲み比べするとおもしろい。@GHAZ http://www.hyotan.co.jp/ 【編集者直撃】

地サイダー

